

## 「キリスト者の福音的生き方」

補足資料 (18.2.22)

### 1. 入信の秘跡によって始まるキリスト者の生き方

キリストにおける新しい生活である (ローマ 12.1-2 参照)

### 2. 入信の秘跡：①洗礼、②堅信、③エウカリスチア (聖体)

・洗礼とは：古い自分に死んで、キリストの新しい復活のいのち生きるスタートを切る (ローマ 6.3-11 参照)

・堅信とは：福音宣教のために人生をささげる  
(使徒言行 1.8 参照)

・エウカリスチアとは：「教会が主の死と復活の記念である感謝の祭儀 (エウカリスチア) を行うとき、この救いをもたらす中心的な神秘が真に現存し「わたしたちのあがないの業が行われる」(『教会にいのちを与えるエウカリスチア』(11項)。

### 3. キリストの祭司職・預言職・王職にあずかる

(『第二バチカン公会議を今日に生きる』70,72,75 頁参照)

### 4. 「地の塩・世の光」として神の国の完成のために働く

(マタイ 5.13-16 参照；『第二バチカン公会議を今日に生きる』91-94 頁参照)